H24.2.17

資　料　No.3

# 平成24年度

# 主要事業説明資料

新潟県三条市

市の花
ひめさゆり

市の木
五　葉　松

市の鳥
芝　地　鶏

わずか7年の間に2度の災害

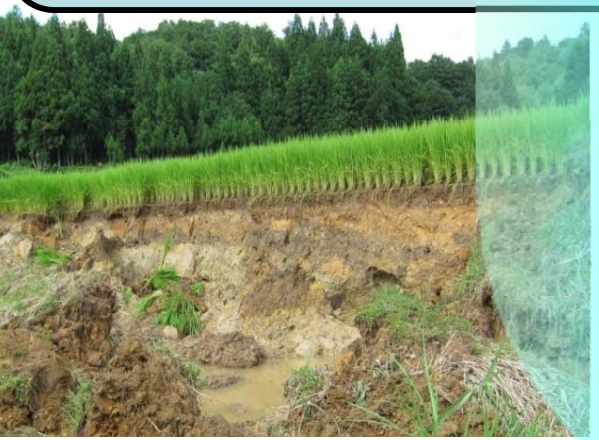
# 平成24年度　最優先課題

# 7．29豪雨災害からの復旧・復興

## 被災地の復旧
【事業費】861,859千円

- ●農地、農業用施設の災害復旧
- ●集落間調整制度の活用
- ●農業者、中小企業者等への利子補給
- ●公共土木施設災害復旧

※(最)-1参照



## 抜本的な総合治水対策の推進
【事業費】 338,005千円

- ●五十嵐川及び支川の災害復旧事業
  - ○ダムの機能強化
  - ○遊水地の整備
- ●河川防災ステーションの整備（排水ポンプ車等の配備）
- ●地下貯留施設の整備
- ●新通川・島田川の抜本的対策
- ●「（仮称）布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会」による検討
- ●「災害復旧対策室」の設置

※(最)-2参照

## 防災・減災対策の強化
【事業費】89,973千円

- ●地域防災力強化事業
  - ○緊急時避難所体制の再構築
  - ○緊急告知FMラジオの貸与対象者の拡大
  - ○まるごとまちごとハザードマップの整備（中地区、北地区）
- ●災害対策事業
  - ○防災カメラの増設
  - ○移動系防災行政無線の各支部への配備
  - ○土砂災害ハザードマップの整備
- ●水防事業
  - ○水防資機材等の効果的配置

※(最)-3参照

# 総額12.9億円の復旧投資

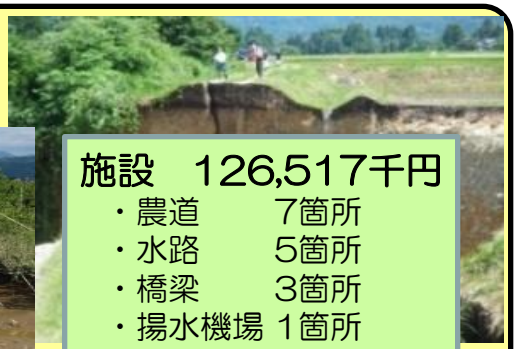
# 復興へ

# 最－1　被災地の復旧

被災された地域の復旧に加え、農業者や中小企業者の方々が１日も早く災害前の生活に戻れるよう、全力で取り組んでいくもの

## 農地・農業用施設の災害復旧
【予算額】417,875千円

**農地　291,358千円**
- 田　23箇所
- 畑　2箇所



**施設　126,517千円**
- 農道　7箇所
- 水路　5箇所
- 橋梁　3箇所
- 揚水機場　1箇所
- ため池　1箇所

## 水稲作付の集落間調整制度の活用
（※下田地域）

災害等により水稲の作付が困難な農地に相当する面積を集落内及び集落間で作付可能な農業者へ委託を行い、不足分を補う調整をする

※受委託単価（予定）
10アール当たり23,000円

## 農業者、中小企業者等への利子補給

### 県農林水産業振興資金（利子補給）

（H23年度）
【限度額】個人1,000万円、法人等3,000万円
【利　率】年2.8%以内（実質　年0.7%以内）
【利子補給】県1/2＋市1/4＋**※市1/4(独自支援)**
※市が更に助成し、5年間は**実質無利子**
【期　間】７年以内

**H24年度利子補給**　【予算額】1,650千円
県農林水産業振興資金利子補給（7.29災害分）
〇市負担　825千円（1/2）
（制度分412.5千円、独自支援分412.5千円）
〇県負担　825千円（1/2）

### 新潟・福島豪雨災害緊急対策資金

**被災中小企業者（H23年度）**
【限度額】１事業者　3,000万円
【利　率】年1.75%(信用保証付1.5%)
【期　間】運転10年以内・設備15年以内
【その他】利子補給(100%)･信用保証料補助(100%)

**復旧工事受注中小建設業者等（H23年度）**
【限度額】１事業者　2,000万円
【利　率】年1.75%(信用保証付1.5%)
【期　間】運転5年以内
【その他】利子補給(100%)･信用保証料補助(100%)

**H24年度利子補給**
【予算額】22,500千円

【利子補給】100%
【期　間】３年間
〇被災中小企業者
15,750千円
〇工事受注中小建設業者等
6,750千円

# 最－２　抜本的な総合治水対策の推進

信濃川、五十嵐川への流量負担及び治水バランスを考慮した河川の流下能力の増強とダムの機能強化、遊水地の整備や地下貯留施設の整備等を行い、五十嵐川を中心とした水系及び市街地流域の抜本的な対策を推進するもの

## 五十嵐川及び支川の災害復旧事業

### ●ダムの機能強化

流量調整機能の強化を図る

【整備地区】五十嵐川上流域

【事業期間】平成23年度～平成27年度

### ●遊水地の整備

河川の流量を一時的に貯留し、緩やかに排出することで流量調整を図る

【整備地区】五十嵐川中流域

【事業期間】平成23年度～平成27年度

### ●五十嵐川及び支川の抜本的改修

【整備地区】五十嵐川上・中・下流域
　　鹿熊川上・中・下流域

【事業期間】平成23年度～平成27年度

【五十嵐川】

信濃川合流点から塩野渕地区までの抜本的改修

・ダム、遊水地による流量調整機能の強化

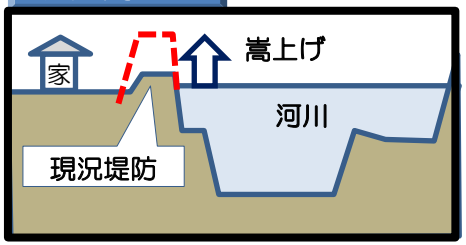
・堤防嵩上げ、河道掘削、引堤などによる河川改修

【鹿熊川】

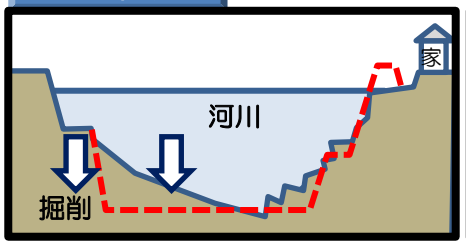
五十嵐川合流点から曲谷地区までの抜本的改修

・堤防嵩上げ、河道掘削、引堤などによる河川改修

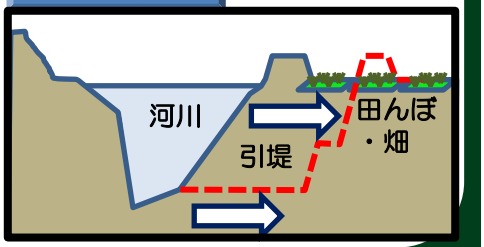
**堤防嵩上げ**　堤防の増高・強化




**河道掘削**　河床の堀り下げ等




**引　堤**　河川断面の拡大等




## 地下貯留施設の整備

雨水等を一時的に貯留し、緩やかに排出することで市街地での浸水被害の軽減を図る

【対象区域】

間野川排水区域、輪之内ポンプ場排水区域、一ノ木戸小学校跡地ほか

【予算額】129,600千円

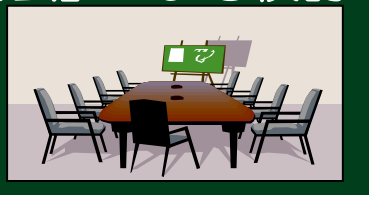
※Ⅱ-1参照

## 「（仮称）布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会」による検討

緊急時連携体制の構築、排水体制の検討、ポンプ施設の有効活用などについて検討

【構　成】国、県、土地改良区、市など

【予算額】2,100千円



## 【河川防災ステーションの整備】※4-1参照

## 【新通川・島田川の抜本的対策】※Ⅱ-1参照

# 最－３　防災・減災対策の強化

緊急時の避難所体制の再構築と併せ、防災カメラの増設、ハザードマップの整備等、意識面からの被害軽減策を取り入れた災害に対応するための総合的な仕組みに強化を図るもの

## 地域防災力強化事業

### 緊急時避難所体制の再構築

【予算額】596千円

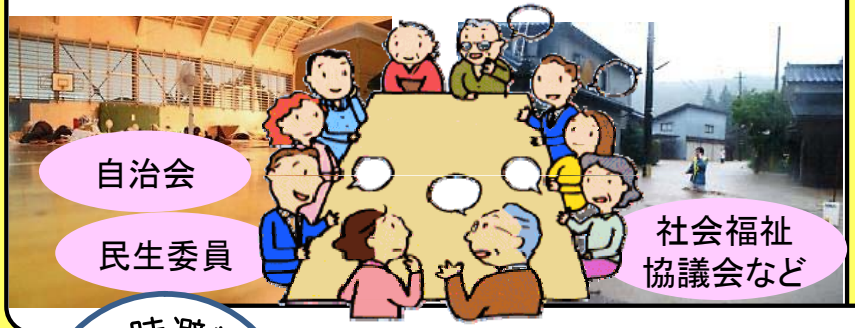
災害時に確実に命を守れるよう民間施設等の活用を含め、緊急時の避難所の在り方を検討し、避難時の危険リスクを軽減する

#### 避難所検討委員会の設置

【メンバー】自治会、民生委員、社会福祉協議会等

【検討内容】

新たな避難所の在り方について、選定基準や運営方針について検討を行い、民間施設を緊急避難所として指定する等、避難時の危険リスクの軽減を図る




#### 緊急時避難所となる民間施設等の表示

緊急避難所に指定した民間施設等にステッカーを表示し、市民に周知する

### 緊急告知FMラジオ等の貸与対象者の拡大

【予算額】26,417千円

災害時の情報伝達をより確実に行うため、高齢者のみ世帯に貸与されている緊急告知FMラジオ等の貸与対象年齢を拡大する

貸与対象年齢
70歳⇒65歳
※５歳引下げ

### まるごとまちごとハザードマップの整備

【予算額】4,000千円

洪水時に想定される浸水の深さや避難所を街角(主に電柱)に表示するハザードマップを整備する

【整備地区】中地区、北地区

### 土砂災害ハザードマップの整備

【予算額】750千円

土砂災害特別警戒区域について、土砂災害ハザードマップを作成し、警戒避難体制を整備する

## 災害対策事業

### 防災カメラの増設

【予算額】3,000千円

河川状況等をリアルタイムに把握し、迅速かつ的確な災害対応活動を行うために防災カメラを増設する

### 移動系防災行政無線の各支部への配備

【予算額】4,410千円

支部における地域の情報収集･情報伝達体制を強化するため、移動系防災行政無線の配備数を増備する

## 水防事業

### 水防資機材等の効果的配置

【予算額】2,652千円

迅速な応急対策を実施するために必要な大型土嚢や杭木、砂利等を配置する

【設置箇所】水防倉庫等

5つの徹底

# 1 地域経済の再活性化　～「産業都市三条」にこだわり抜く!～

## 産業基盤の強化

- 技術力の進化（※1－1参照）
  - 売れるものづくり支援事業　※1－1①参照　（23年度 事業採択件数20件）
  - 成長産業分野進出支援事業　※1－1②参照　（23年度 事業採択件数　3件（継続））
  - 次世代産業創造プロジェクト事業　※1－1③参照　（23年度 風力発電装置の機能分析・評価）
- 即応性の向上
  - 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト（地場産センター）　※1－1①参照
- 経営力の強化
  - 新 戦略的ものづくり経営力強化事業（地場産センター）　※1－1①参照
- 販路開拓
  - 売れるしくみづくり支援事業　※1－1①参照　（23年度 事業採択件数10件）
- 経営基盤の支援
  - 新 経営力強化対策資金の創設　※1－1②参照

## 伝統技術の継承

- 新 ものづくり産地連携事業（「（仮称）日本鍛冶学会」）　※1－2参照
- 「育成塾」の実施　※1－2参照

## 農業活性化プランの推進　※1－3参照

- 地産地消の推進
  - 地産地消システム構築推進事業
    - ・新 三条産農産物シール貼付、地産地消推進店認定事業
  - 地産地消フェアの開催　※3－4参照
- 高付加価値化
  - 鮮度保持研究事業
- 販路開拓
  - 農産物販路拡大事業
  - 学校給食米ブランド販路開拓事業

# １－１　技術力の進化

これまで培ってきたものづくりの技術を更に高め、集積を図り、しなやかで腰の強い産業基盤の確立に向け、技術開発等に挑戦する市内企業の育成と強化を財政面、金融面、人材面などの支援を行うもの

【予算額】116,501千円

## 新しい課題に挑戦し、更なる技術の高度化とその集積の推進

### ①売れるものづくり・売れるしくみづくり支援事業

※１－１①参照

個別企業の自由なものづくりへの挑戦を支援

### ②成長産業分野進出支援事業

※１－１②参照

新素材（炭素繊維）

新たに需要拡大が見込まれる新素材に対応した加工技術の開発に挑戦する企業を支援

コンソーシアムを組んだ企業が成長産業分野の幹を太く太く育てるべく挑戦!!

### ③次世代産業創造プロジェクト事業

※１－１③参照

風速、設置位置等の様々な条件下でも最適に対応できる小型風力発電装置の一貫した開発に挑戦

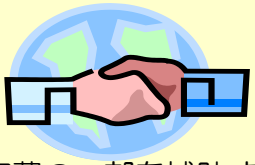
プロジェクト事業として風力発電装置の開発･事業化に挑戦!!

国・県・大学・民間企業などの有識者のアドバイスを受けながら、技術、デザインを始め、製品・技術開発から販路開拓までトータル的な支援体制を構築

# １－１①　売れるものづくり・売れるしくみづくり支援事業

企業の持つ優れた技術力・製品開発力を活用しながら、新たな製品･技術開発を促すとともに、販路開拓を促すための支援を行うもの

## 売れるものづくり支援事業



【予算額】　25,000千円

製品開発等のための事業費や調査研究費の一部を補助することにより、技術開発等に対する市内中小企業の新たな取組を促進し、企業及び業界の活性化を図ることを目的とする

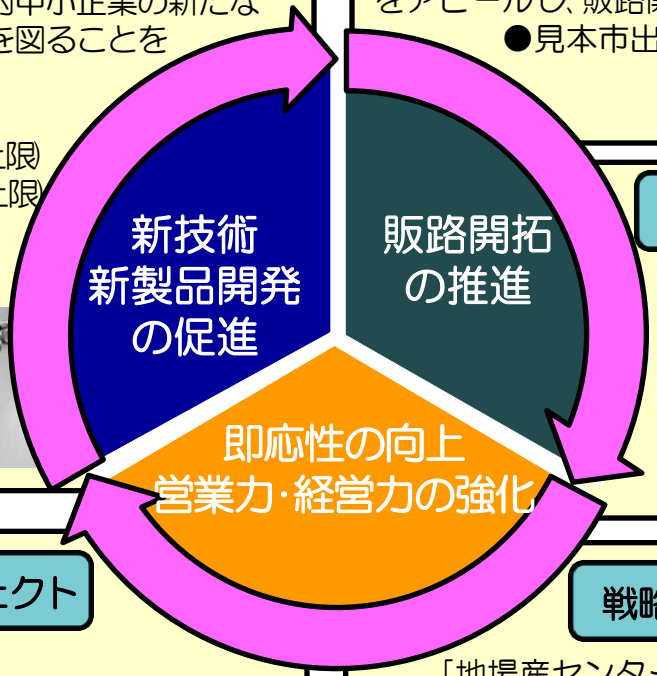
･補助率 総事業費の２/３
･補助額 新技術等開発事業3,000千円(上限)
　　新製品等開発事業1,500千円(上限)
･対象範囲は１～３次産業と広範囲

## 売れるしくみづくり支援事業

【予算額】　10,000千円

見本市などへの出展を通して、優れた技術力･製をアピールし、販路開拓を図る市内企業を支援

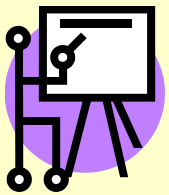
●見本市出展支援事業　補助率 総事業費の２/３
　補助額 上限500千円




## ものづくり技術営業力強化塾

［地場産センター事業］
【予算額】936千円

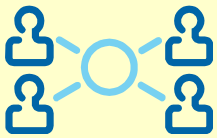
自社の特徴的強みを分析・認識して差別化し、提案型技術営業力を強化するため、セミナー、講演会や演習を通じ、人材育成を進める



## 試作･小ロット品対応力強化プロジェクト

［地場産センター事業］
【予算額】1,520千円

試作品、小ロット品に対応するネットワークを構築し、プロジェクトのＰＲと受注開拓するため、「試作市場」に共同出展する



## 戦略的ものづくり経営力強化事業

［地場産センター事業］　【予算額】1,100千円

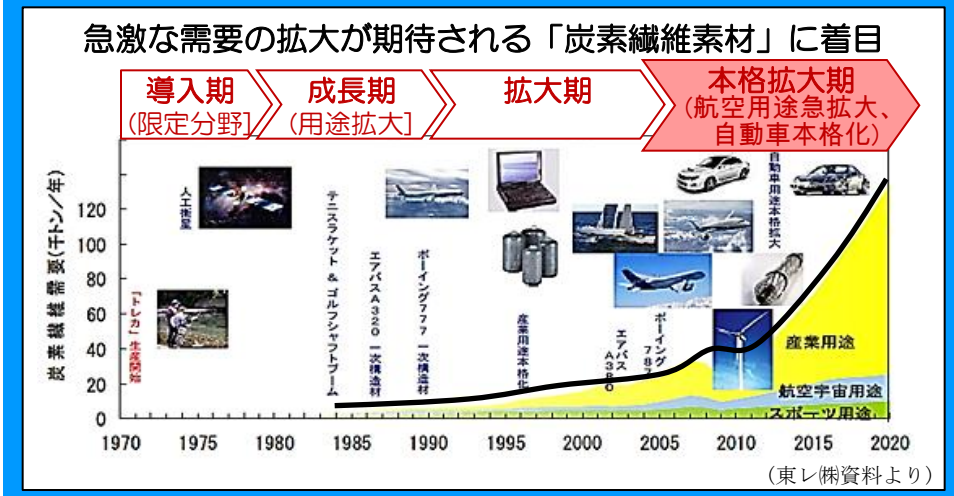
ものづくりと経営を統合的に把握し、組織としての課題解決能力や創造力を発掘するマネジメント能力を身に付け、新たなビジネスモデルや産業のグローバル化に対応できる人材を育成

# １－１②　成長産業分野進出支援事業

成長産業分野や成長市場に対して、「産産連携」や「産学連携」などのコンソーシアムを構築して意欲的に挑戦する市内企業の戦略的な新規分野への進出に対して国と連携した支援を行うもの

## 新素材へ対応した加工技術の開発

急激な需要の拡大が期待される「炭素繊維素材」に着目




（東レ㈱資料より）

企業の成長力を高めるため、需要拡大が見込まれる炭素繊維の加工に対応した技術開発に挑戦

加工技術開発

## 3年間の継続支援

### 財政的支援

**成長産業分野進出支援事業**

引き続き、これまでの取組に支援するとともに、新素材の加工技術、用途開発による市場開拓に挑戦する企業に対して支援を行うもの

【補助率等】
- 補助率：総事業費の４/５
- 補助額：上限5,000千円

### 金融的支援

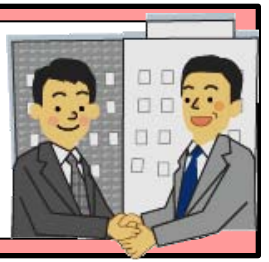
**経営力強化対策資金**

新製品、新技術等に取り組む企業を支援するもの
- 融資限度額：４,000万円
- 期間：10年以内
- 利率：年1.9%

【保証料補助率】0～60%
【利子補給率】　年１%

### 人材的支援

事業の説明や必要な情報について、国や県などの担当者、大学などの専門家集団から直接アドバイスや指導を受けられる体制の構築



# １－１③　次世代産業創造プロジェクト事業

新エネルギーへの期待が高まっている中、次世代産業の創造に当市の技術力を活かしていくことで、外部環境に左右されにくい産業構造への転換を目指すもの

《次世代産業創造プロジェクト》
【予算額】14,498千円

**様々な条件下でも最適に対応できる**
**風力発電装置の開発（オーダーメイド型）**

【特徴】
○軽量高強度部材を採用し、地域の高度な金属加工技術により開発
○風力発電を構成する風車、蓄電、発電、制御システム作りに挑戦

設計から試作、解析まで一貫したものづくり力の強化
風車、蓄電、発電、制御などの全ての要素技術の育成

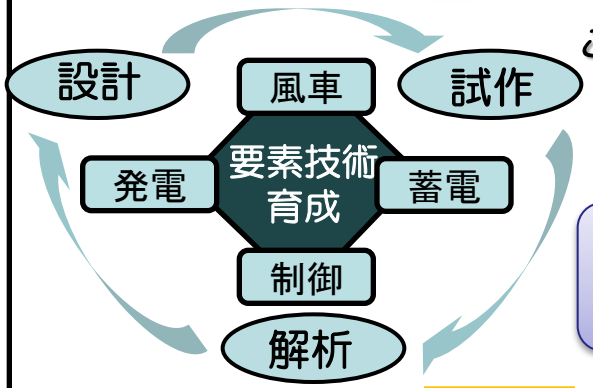
開発力・提案力の強化
ものづくり基盤技術の強化

**外部環境に左右されにくい**
**自立発展型の産業構造への転換**
**（受身受注型から提案・開発型産業構造へ）**

**試作ステージ（H23まで）**

*風車（羽）をメインに開発*

**事業化ステージ（H24～）**




*これらの要素システム全てを確立*

**オーダーメイド型**
**風力発電装置開発**

*蓄積した技術を風力以外の自然エネルギーにも活用*

ものづくり　融合　自然エネルギー

# １－２　伝統技術の継承

現在の金属加工技術の基礎となる鍛冶の技術をしっかりと継承していくため、後継者の確保を図るとともに、若手鍛冶職人が品質向上に資する技術や戦略的に販売する経営感覚を身に付けるための実践的な取組を行うもの

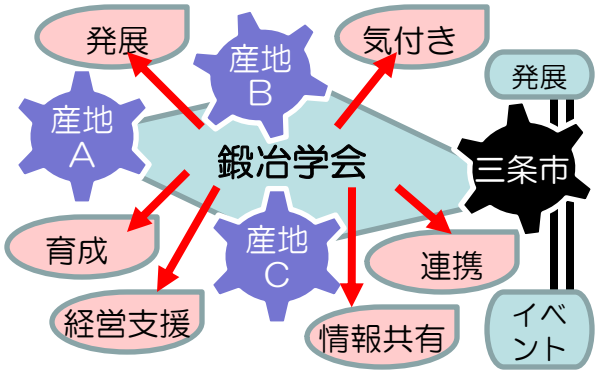
## 「(仮称)日本鍛冶学会」の設立

【予算額】3,000千円

鍛冶･打刃物･手道具製造業者、関係者が継続的なつながりを生み出し、ノウハウの共有や学べる場として開催

技術・経営等の向上機会の提供

### 産地間の継続的な「つながり」




○対象：産業支援機関、業界関係者、行政等
○内容：経営基盤の確立、流通・消費者への情報提供、製造技術の円滑な継承（担い手の育成）、鍛冶の誇り地域文化の再構築

## 伝統的地場産業の振興

【予算額】28,495千円

### 新規人材雇用

**県緊急雇用創出事業の活用**

新規に職人を目指す者に対し、県緊急雇用創出事業を活用して経済的･技術的支援を行う
○実技指導：鍛冶集団
○基礎知識：長岡技科大

就　業

### 「育成塾」の実施

若手鍛冶職人に対する研修の実施

伝産事業

DIYショウ

鍛冶キャラバン

### 三条鍛冶の技術継承と情報発信

鍛冶道場

人材成事業

鍛冶まつり

### 経営研修

### 技能研修

**科学的根拠・経営の基本ノウハウの習得**

売れる製品の創出･経営ノウハウの習得に必要な支援を行う
○対象：若手鍛冶職人、卸商の後継者

鍛冶製品のブランディング

科学的根拠に基づく製造技術の習得･加工技術の底上げに必要な支援を行う
○対象：若手鍛冶職人

鍛冶製品の品質向上

# １－３　農業活性化プランの推進

意欲的に取り組む農業者を対象とする多様な取組を展開することで、市民と行政が協働で農業の活性化を図るもの

## 三条市食育の推進と農業の振興に関する条例

### 第２次食育推進計画
【予算額】 5,863千円

#### 食育の普及啓発

○給食だより、
　食育メール等
○民間団体と連携
　した食育地産地消

#### 地元食材の積極的活用

○地産地消推進店の周知事業
○学校給食への地元農産物の
　利用拡充

#### 地域の農業や食文化を理解し、感謝の心を育む
○生産者交流会の実施
○子どもが作る弁当の日事業

### 農業活性化プラン【予算額】 4,999千円

#### 食育の推進
○学校教育田活動
○伝統料理教室
（地元農産物活用）

#### 地産地消
○地産地消フェアの開催
○地産地消システム構築推進事業
・販売店でのシール貼付野菜の推進
・地産地消推進店認定事業

#### 人材育成
○農業担い手確保育成事業
○有機農業協議会・育児ママ
　等と連携した担い手育成

#### 農産物の高付加価値化
○良質堆肥の有効利用検討
○ナノミスト発生装置の果樹鮮度保持研究

#### 販路開拓
○学校給食米ブランド販路開拓事業
○農産物販路拡大事業
○市場ピッキングセンター
　と連携した流通

#### 環境保全
○完熟堆肥化センターの活用
・良質堆肥の利用啓発

○環境にやさしい農業推進事業
・バイオマス資源利活用、環境教育・保全
　活動補助

#### 日本食を基本とした食生活の実践
○米飯給食の活用
○学校、保育所等での食育講話
○健康運動教室等での栄養指導

5つの徹底

# 2 子育て環境の充実　～次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く!～

## 小中一貫教育の推進

- 小中一貫教育推進事業　※2－1参照
  - ・㊕「小中一貫教育研究発表会」の開催、小中交流活動、小・中相互乗り入れ授業、小中一貫教育検討委員会等での検討、モデルカリキュラムの自校区化、嘱託指導主事・小中学校講師の配置
  - 23年度 ・小中交流活動等の教育活動のためのバス購入
- 小中一体校の整備　※2－2参照
  - ・第一中学校区小中一体校建設事業(H26年4月開校予定)、第二中学校区小中一体校建設事業(H24年9月開校予定)
  - 23年度 実施設計、残存物撤去工事、周辺整備工事等

## 教育環境の充実

### 教育施設等の整備

- 裏館小学校改築事業　※2－3参照
  - 23年度 仮グラウンド造成工事、校舎棟建築工事等
- 通学路の整備　※2－3参照
  - ・第一中学校区通学路(市道南四日町西本成寺線)及び第二中学校区通学路(市道興野新光線)整備など
- 小学校校庭の芝生化　※2－3参照
  - ・一ノ木戸小学校、栄中央小学校、栄北小学校

### 教育活動の充実

- 学力向上推進事業　※2－4参照
  - ・中学校の教科書改訂に伴う指導書及びデジタル教科書の購入
  - 23年度 小学校の教科書改訂に伴う指導書及びデジタル教科書の購入
- 幼児教育推進事業　※2－4参照
  - ・「安心わくわくプログラム」の実践、幼稚園・保育所(園)と小学校との交流活動
  - 23年度 「接続期のモデルプログラム」の検討、策定
- 下田地域複式学級の在り方の検討　※2－4参照
  - 23年度 「下田地域複式学級懇話会」による検討
- ㊕「勇志塾」の開講　※2－4参照

## 子育て支援の充実

**子育て応援宣言市民運動!**

### 総合ｻﾎﾟｰﾄｼｽﾃﾑ事業

- 特別支援教育事業
- いじめ・不登校対策事業
  - ・不登校児童・生徒支援員の配置、サポートネットワーク事業、「深めよう絆スクール集会」の開催

### 放課後子どもプランの推進

### 公立保育所の民営化の推進

- 23年度 飯田保育所(中浦保育所統合)

・㊕一ノ門保育所(一ノ門わくわく保育園の整備)、㊕川通保育所(川通どれみ保育園の整備) ※Ⅱ－2参照

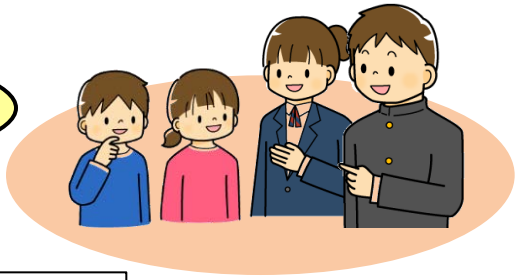
# ２－１　小中一貫教育推進事業

三条市の将来を担う大切な宝である子どもたちを心身ともに健やかに成長させるため、全小中学校で義務教育９年間を連続した期間としてとらえた小中一貫教育の推進を図るもの

## 小中一貫教育推進事業

【予算額】75,677千円

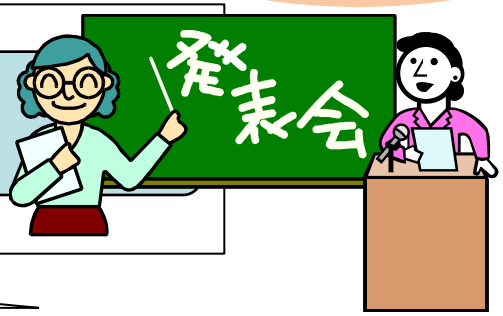
**平成25年4月**
**「全中学校区小中一貫教育実施」**



### 「小中一貫教育研究発表会」の開催

市内全小・中学校で、各中学校区のこれまでの取組について成果等を共有

各中学校区 小中一貫教育グランドデザインの検討




### これまでの主な取組

- 小・中学校の交流活動
- 小・中学校の部活動交流
- モデルカリキュラムの作成
- モデル校中間発表会
- 小・中学校教員の相互乗り入れ授業
- 小学校高学年の一部教科の担任制

小・中交流授業

小・中交流授業

モデルカリキュラムづくり

地域と共に小・中学生で共同活動

- 小中一貫教育検討委員会、小中一貫教育推進協議会による検討
- 小中学校講師、嘱託指導主事の配置
- 教育活動用バスの配備

# ２－２　小中一体校の整備

第一中学校区、第二中学校区に小中一体校の整備を行うもの

## 第一中学校区小中一体校建設事業 (第一中学校 移転改築、(仮称)第一中学校区統合小学校新築)

(平成26年４月開校予定)

【予算額】837,666千円
(H23補正含み2,956,628千円)
※継続費(H23～H25)7,244,818千円

○主な施設内容
普通教室、特別教室、特別支援教室、地域開放施設、給食調理室、メディアセンター、校務センター、体育館、武道場、室内プール　など

### 第一中学校区「小中一体校開校準備委員会」

小中一体校開校準備に関する協議組織
（第一中学校区小中一貫教育推進協議会内に設置）

小中一体校開校準備委員会（学校、地域、保護者）

- 通学部会：通学路、スクールバス運行
- 地域交流部会：PTA組織、学校施設開放 等
- 学校運営部会：日課表、年間行事計画 等

## 第二中学校区小中一体校建設事業 (一ノ木戸小学校移転改築)

(平成24年９月開校予定)

【予算額】869,566千円
(H23補正含み1,813,563千円)
※継続費(H22～H24)2,649,000千円

○主な施設内容
普通教室、特別教室、特別支援教室、地域開放施設、給食調理室、メディアセンター、小中連携教室兼小中教職員連携スペース、体育館、屋上プール　など

# ２－３　教育施設等の整備

子どもたちの心身の健やかな成長を支えるため、教育環境の整備・充実を図るもの

## 裏館小学校改築事業

（平成24年９月開校予定）

【予算額】482,142千円
（ただし、H23補正含み1,453,258千円）
※継続費（H22～H25） 2,630,611千円

○主な施設内容
普通教室、特別教室、特別支援教室、地域交流室、
PC教室、給食調理場、体育館、クラブハウス、
屋上プール　など
体育館、給食調理場は、平成25年度中の供用開始を予定）

## 学校校庭芝生化事業

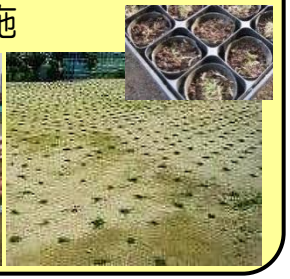
【予算額】18,600千円

児童・生徒の教育環境の充実を図るため、学校グラウンドの芝生化を推進する

○低コストで芝生化を図る「鳥取方式」で実施
※鳥取方式：生育力が旺盛なティフトン芝を使用し、等間隔に掘った穴にポット苗を植えるなどにより芝生化する

○一ノ木戸小、栄中央小、栄北小で実施

○児童・保護者・地域との協働により実施



## 通学路の整備

【予算額】127,000千円

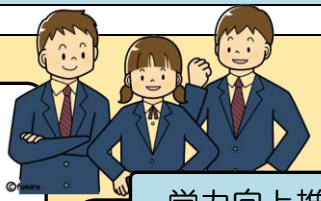
児童・生徒が安全に安心して小・中学校に通学ができるよう通学路を整備する

○整備路線
興野新光線（第二中学校区）
南四日町西本成寺線（第一中学校区）
岡野新田１号線（栄中学校区）　など

# ２－４　教育活動の充実

三条市の次代を担う子どもたちを育て抜くため、教育施設等の整備・充実を図ることと併せ、「勇志塾」の開講、「安心わくわくプログラム」による指導、複式学級の在り方の検討など、教育活動の充実を図るもの

## 「勇志塾」の開講



【予算額】416千円

中学生を対象に「未来を切り拓くたくましい若者」を育成する

〇講演、リーダー養成講座
〇人と人との関わり合いプログラム
〇各校の特色ある取組発表
〇１人１人の決意表明

## 学力向上推進事業

【予算額】31,761千円

児童・生徒の学力向上と教師の資質・授業力の向上を図る

〇全国標準学力検査(NRT)の実施
〇中学校ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教科書の配付
〇中学校教師用指導書の配付

## 特色ある教育活動推進事業

【予算額】
12,172千円

総合的な学習の時間において、各学校や地域の特色に応じた体験を基本とした学習を実施する

## 刃物(ものづくり)推進事業

【予算額】
1,699千円

三条の歴史・文化やものづくりを学ぶとともに刃物の安全な活用方法を身に付ける

〇和釘づくり、包丁研ぎ、木工工具の使い方　等

## 下田地域複式学級の在り方の検討

児童・生徒の減少傾向が著しい下田地域における今後の複式学級の在り方について、具体的な方策を検討する

## 幼児教育推進事業

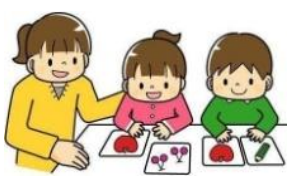
【予算額】2,386千円

幼児期に子どもの生きる力の基礎をしっかりと育むため「幼児教育推進プラン」に基づき、幼稚園･保育所(園)、学校、行政が幼児教育の推進を図る

## 「安心わくわくプログラム」による指導

幼稚園・保育所(園)の5歳児の1月～3月、小学校の入学後の4月～6月を「接続期」と捉え、つながりを意識した丁寧な指導を実施

〇「3つの力」の伸長
　①生活する力
　②かかわる力
　③学ぶ力
〇家庭との連携



5つの徹底

# 3 スマートウエルネス三条の推進 ～赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く!～

## スマートウエルネス三条推進計画

### スマートウエルネス三条推進事業　※3－1参照

・(新) 施策評価システムの構築、「高齢者が暮らしやすいまち調査」の実施
・スマートウエルネス三条推進会議(知的支援基盤)での取組効果の検証
・(新)スマートウエルネス三条シンポジウムの開催

### 健康づくり施策

#### 生活習慣病予防、介護予防、認知症予防の充実　※3－2参照

・健康運動教室の実施、さんちゃん健康体操の普及啓発
・(新) 認知症連携パスの導入、認知症地域支援推進員の配置、認知症ケアサポート会議の開催

#### 保健活動の充実　※3－2参照

23年度
・がん検診受診率向上モデル事業、妊婦健診の検査項目拡大、子宮頸がんワクチン予防接種

・(新) 歯科保健計画の策定、健康さんじょう21の見直し
・(新) 大腸がん検診の実施、半日ミニドックの実施、糖尿病予防強化事業
・自殺予防ゲートキーパーの養成

#### 食育の推進　※1－3参照

#### スポーツ環境の充実　※3－2参照

23年度
・栄総合体育館の竣工
・総合運動公園多目的広場の整備

・(新) さんじょうスポーツデイの実施、ジュニア育成事業

### 暮らしの場の維持

#### 生活機能の保持　※3－3参照

・ご用聞き笑店街の運営支援、地域見守りサービス事業

#### 地域公共交通総合連携計画の推進　※3－3参照

23年度
デマンド交通の全市本格稼動

### にぎわいの場の再生

#### 中心市街地活性化事業　※3－4参照

23年度
・まちなか応援マネージャー及びまちなか応援サポーターの設置

・(新) 拠点整備検討事業、まちなかにぎわい創造事業(三条マルシェ)、空き店舗新規出店者支援事業

### 生きがい・就労の場の創出

#### 「健幸マイレージ」制度の充実　※3－5参照

23年度
「健幸マイレージ制度」の創設

・生涯学習の充実、老人クラブ活動・シルバー人材センター等への支援、生きがい活動支援通所事業

## 障がい者支援

### 障がい者福祉の充実

・障がい者の社会参加・通院等に係る交通費助成の拡充

## 地域医療体制の充実

### 地域医療体制の充実

23年度
「救命救急センター及び併設病院等のあり方検討会議」において500床規模の病院併設型の救命救急センターの設置確認

・県央医師会応急診療所の運営支援

# ３－１　スマートウエルネス三条推進計画

市民のだれもが生涯にわたり「明るく、楽しく、元気よく」健康で幸せに暮らし続けるための基盤として、自然と「歩く」を基本に「暮らしの場」「にぎわいの場」「生きがい・就労の場」を柱としたまちづくりを進めるもの

**健幸長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区**
【新潟市、見附市ほか7市共同】

規制緩和
財政支援

7市の個性の発揮･吸収

## スマートウエルネス三条推進計画
～自然と「歩く」を基本としたまちづくり～

【 目 標 】
健康寿命を延ばす・医療費負担の軽減

**Action** 解決策の考案
**Plan** 課題の見える化
**Do** 施策の改善又は立案･実施
**Check** 施策の評価

### スマートウエルネス三条推進会議
（知的支援基盤）
【予算額】1,357千円
科学的根拠に基づく取組の効果分析･検証を行い、効果的に取組を進めるためのアドバイスを行う

### 高齢者が暮らしやすいまち調査
【予算額】2,100千円
高齢化率の特に高い三条小学校区をモデルに、暮らしやすいまちの要件や外出の目的、日常生活における問題点等を把握しながら長寿社会に必要な施策を検討する

### 評価システム（EHR）
医療や介護の分野等における効果を検証するための評価システムを構築する【特区7市共同事業】

［イメージ］

### 施策評価システムの構築
健康指標　心理･社会･知識指標
まちづくり指標　地域経済指標
↓
散在するデータの集約
↓
見える化（現状、将来、前後比較）
↓
効果検証のための基礎情報の集約

### 健康づくり施策
- 生活習慣病･介護予防
- 保健活動、食育（※1-3参照）
- スポーツ環境

※３－２参照

### 暮らしの場
- 生活機能の保持
- 不安の解消
- 地域公共交通

※３－３参照

### にぎわいの場
- 中心市街地の活性化
- 空き店舗活用
- コミュニティ

※３－４参照

### 生きがい・就労の場
- 市民活動
- ボランティア
- 生涯学習

※３－５参照

# ３－２　健康づくり施策

生涯にわたり健康で介護を必要とすることなく暮らせるよう、スポーツによる体力づくりや生活習慣病予防・介護予防などの施策の展開を図るもの

## 生活習慣病予防、介護予防、認知症予防の充実

### 健康運動教室事業

【予算額】52,394千円

科学的根拠を基に開発したシステムを使用し、参加者一人一人にあわせた個別プログラムによる運動教室を実施する

・対象者：40歳以上(医師から運動を禁止されていない方)

### 体操事業

【予算額】371千円

「さんちゃん健康体操」の普及･啓発

・サポーター養成講座の実施

・サークル活動支援

### 認知症施策総合推進事業

【予算額】1,578千円

物忘れが心配な方から認知症の方まで、相談機関・医療機関・介護事業所の連携をスムーズにし、包括支援センターを核とした医療・介護・福祉及び生活支援に係る総合的な支援体制を構築する

○認知症連携パスの導入

○認知症地域支援推進員の配置

○認知症ケアサポート会議等の開催

## 保健活動の充実

こころの健康のサポート

### 精神保健事業

【予算額】140千円

○自殺のサインに気付き、適切なサポートを行う「ゲートキーパー」を養成する

○心の健康づくり講演会の開催

### 健康診査事業

【予算額】119,039千円

○大腸がん検診の実施

○半日ミニドックの実施　ほか

ヘルスリテラシーの低い方へのアプローチ

### 糖尿病予防強化事業

【予算額】450千円

イベント等での簡易血糖検査等の実施　ほか

## スポーツ環境の充実

スポーツ都市宣言5周年記念イベント

### さんじょうスポーツデイ

【予算額】1,958千円

・開催時期　10月

・会　　場　下田地域

○駅伝大会
(全６区間･計 約15km)

○体力測定

○ウォーキング講習会

## ジュニア層の育成･強化

中・長期的視点に立った育成・強化の仕組みの構築

スポーツ推進審議会

体育協会 / 学 校 / 大学等 / 関係団体

### ジュニア育成事業

【予算額】500千円

プロスポーツ選手との交流

# ３－３　暮らしの場の維持

歩いて行動できる範囲に支障なく日常生活を送るための生活基盤を整備するとともに、高齢者が安心して暮らすことができる環境づくりを進めるもの

## 生活機能の保持

### さんじょうご用聞き笑店街

【予算額】2,500千円

地域住民の買い物利便性向上や商店街、中心市街地等の活性化を図る

### 地域見守りサービス事業

【予算額】1,540千円

一人暮らし高齢者等に対する声かけ、買い物支援等による高齢者世帯への訪問を通じ、地域住民等が相互に支え合う「共助」の仕組みを構築する

**○声かけ活動**
週１回程度の訪問

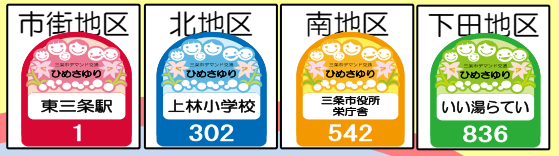
**○巡回確認**
住宅の外観、郵便物の状況等の確認

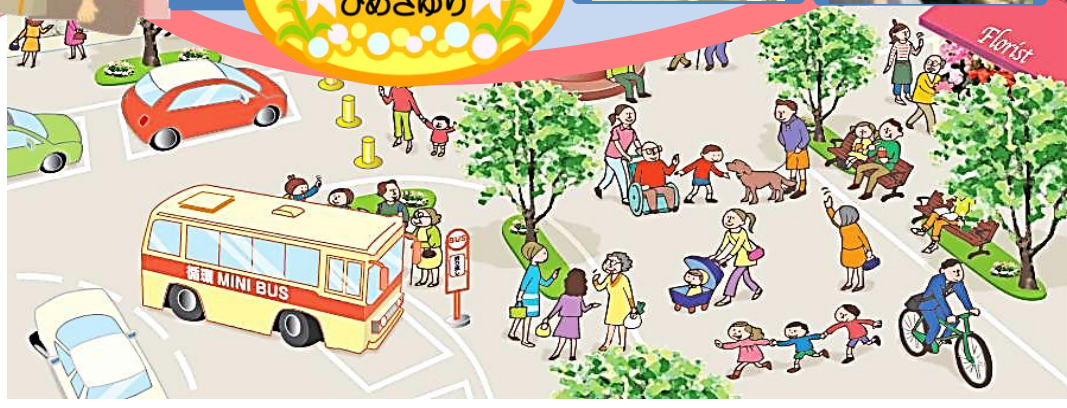
## 地域公共交通総合連携計画の推進

【予算額】70,682千円

**○デマンド交通の全市展開**
概ね半径300m以内の区域で乗降できるよう停留所を６１０箇所設置

**○複数乗車利用の促進**





# ３－４　にぎわいの場の再生

中心市街地を日常的なにぎわいの場にするため、空き店舗等を活用したコミュニティの場や地域の魅力発信など様々な市民活動の拠点施設の整備に向け、必要な機能などについて幅広い視点で具体的に検討するための場を設置し議論を深めるとともに、まんなかプロジェクトを中心に各種イベントの開催等を支援するもの

## まちなかにぎわい創造事業

### 三条マルシェ～ごった市@ホコテン

【予算額】11,300千円

**スイーツフェア**
【予算額】2,040千円

**地産地消フェア**
【予算額】1,000千円

### まちあるき小路看板の設置

【予算額】60千円

**連携**

ジョイント開催
【予算額】1,050千円

## 六斎市

五・十の市（四日町市場）
二・七の市（中央市場）

## まんなかプロジェクト

【予算額】2,411千円
中心市街地のにぎわい創出のためのプラットフォーム

### 「まんなかステーション」の整備

【予算額】5,471千円

○拠点施設整備事業
中心市街地のコミュニティや情報発信拠点の整備に向けた検討

○まちなか応援マネージャー事業
商店街の情報発信等を企画するまちなか応援マネージャーを配置

**休憩･情報発信**
・フリースペース
・講座･イベントの開催

コミュニティ

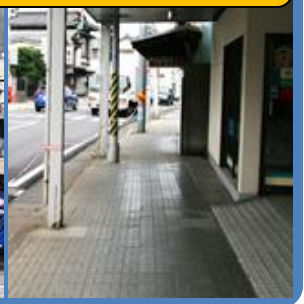
**チャレンジショップ**
・カフェスペース
・物販スペース

## 商店街

### 空き店舗新規出店者支援事業

【予算額】7,840千円

空き店舗への出店等に対し、店舗の「改修費」と「賃借料」の一部を補助する



**イベントによるにぎわい**

**日常のにぎわい**

# ３−５　生きがい・就労の場の創出

生涯学習講座の提供や社会参加の機会の提供と併せ、様々なボランティア活動等を通じた社会貢献の奨励や支援を行い、サービスを提供する側・される側双方の生きがいにつながるような仕組みを構築するもの

## 健幸マイレージ事業

【予算額】 5,381千円
【事業内容】
市主催イベントや生涯学習講座への参加、ボランティア活動等に対してポイントを付与し、ポイント数に応じて抽選等により地元産品等をプレゼントする

生活の中で楽しみながら自然と「歩く」「交流する」を誘発

## 生涯学習の充実

【予算額】11,480千円
○市民の要望に応じた多様な学習機会の提供
○生涯学習指導者及びボランティアの活躍の場の提供

学ぶ・参加する

市主催イベントや生涯学習講座への参加で健幸マイレージポイントをもらう

ポイントを集めて応募すると、抽選で地元産品等をプレゼント

## 生きがい活動の支援

一人暮らしの高齢者等に対する介護予防・趣味活動支援、閉じこもり予防や高齢者の社会的孤立感の解消

○生きがい活動支援通所事業【予算額】17,058千円
○老人クラブ活動等への支援【予算額】　7,378千円
○体操事業、健康運動教室事業　※3-2参照

## 社会参加の機会の提供

【予算額】16,111千円
シルバー人材センター、ボランティア活動等への支援を通じた高齢者の社会参加機会の提供

ボランティア活動

無償ボランティア活動で健幸マイレージポイントをもらう

ポイント数に応じて地元産品等と交換できる引換券と交換

「学ぶ」「参加する」「ボランティア等による社会貢献」等を通じた生きがいづくり

5つの徹底

# ４ シティセールスの推進　～三条の素晴らしさをアピールし抜く!～

## 地域ブランドの確立

- 燕三条ブランドの積極的な展開（地場産業振興センター）
  - ・㊕ソーシャルネットワーキングサービスの活用、見本市への出展、「燕三条プライドプロジェクト」の推進支援

23年度
・観光コンシェルジュの配置
・燕三条インターネットショップ運営支援

## 観光振興・交流人口の拡大

- 交流拠点施設整備事業　※4－１・Ⅱ－２参照
  - ・下田地域交流拠点施設整備事業（本体工事）、保内地域交流拠点施設整備事業、かわまちづくり事業（施設整備工事）
- 観光施設等整備事業　※Ⅱ－２参照
  - ・白鳥の郷公苑整備事業（公苑駐車場整備）、ヒメサユリの小径整備事業（ﾄｲﾚ・東屋整備）、温泉交流施設整備事業、粟ヶ岳登山道ｱｸｾｽ道路整備事業
- 吉ヶ平周辺整備事業　※Ⅱ－２参照
  - ・吉ヶ平周辺整備事業（用地取得、実施設計）
- 新 国道289号八十里越暫定的活用推進事業
  - ・国交省、新潟・福島県、只見町との暫定的活用に向けた懇談会の開催
- 着地型観光の推進
  - ・ニューツーリズム観光振興事業、まちあるきの実施、まちあるきサポーターの養成
- 新 諸橋轍次記念館活性化事業　※4－１参照

23年度
・白鳥の郷公苑観察棟実施設計
・粟ヶ岳アクセス道路橋梁工事

23年度
・まちあるきの実施
・まちあるきサポーターの養成

## 戦略的情報発信

- 地域連携・広域連携・異地点間連携　※1－２参照
  - ・ものづくりのまちネットワーク推進事業
  - （㊕ものづくり産地連携事業（「（仮称）日本鍛冶学会」）【再掲】、越後三条鍛冶まつり【再掲】、鍛冶キャラバン等【再掲】）

## 農業活性化プランの推進

- 農産物販路拡大事業 【再掲】　※1－３参照
- 学校給食米ブランド販路開拓事業 【再掲】　※1－３参照

# ４－１　交流拠点施設整備事業

対象地域のあらゆる資源を有機的に連携させ、その魅力を高めるために交流拠点施設を整備するもの

## 有機的な連携

まちあるるき

カレーラーメン

白鳥飛来地

## 保内地域交流拠点施設整備事業

～植木を活用した地域の魅力発信と交流～

【予算額】　172千円

【事業内容】施設整備の検討

## 諸橋轍次記念館活性化事業

【予算額】　3,850千円

【事業内容】 ﾘﾆｭｰｱﾙｵｰﾌﾟﾝ記念事業の開催：特別展
日中国交正常化40周年記念展（中国駐新潟総領事館協力）、記念講演会

周辺施設
活性化による
相乗効果!!

## かわまちづくり事業

～水辺を活用した地域の魅力発信と交流～

【予算額】　206,305千円

【事業内容】・交流施設(水防センター)の整備
・馬場跡地整備

交流施設(水防ｾﾝﾀｰ)ｲﾒｰｼﾞ

### 河川防災ステーション

災害時の迅速な排水･応急対応
○排水ポンプ車の配備（国交省）
○防災資機材の備蓄（国交省）

ﾋﾒｻﾕﾘ

「いい湯らてい」

北五百川の棚田

## 下田地域交流拠点施設整備事業

～四季折々の豊かな自然や歴史・文化を活かした交流・発信～

【予算額】　232,106千円

【事業内容】
・交流促進センター庭月庵悟空の改修、農産物加工所及び農産物直売所の建設
・地産地消を推進する「農家レストラン」
・生産者の顔の見える「農産物直売所」
・地元農産物で加工品を作る「農産物加工所」

吉ヶ平周辺

5つの徹底

# 5 市民参加の徹底　～市民パワーを活用し抜く!～

## 市民活動の支援

- まちづくり活動の推進　※5－1参照
  - ・中間支援組織運営支援、まちづくりサポート交付金の見直し
  - ・(新) 地域イベントカレンダーの作成と活用、地域づくり応援塾
- (新) 地域のきずな・“結(ゆい)”プロジェクト事業　※5－1参照
  - ・自治会等で過去に実施していた行事の復活・再開への支援

## 地域経済の再活性化

- (新) ものづくり産地連携事業(「(仮称)日本鍛冶学会」)【再掲】※1－2参照
- 地産地消システム構築推進事業 【再掲】　※1－3参照

## 子育て支援の充実

- 放課後子どもプランの推進 【再掲】

## スマートウエルネス三条の推進

- 生活習慣病予防、介護予防、認知症予防の充実 【再掲】　※3－2参照
- 食育の推進 【再掲】　※1－3参照
- スポーツ環境の充実【再掲】　※3－2参照
  - ・(新) さんじょうスポーツデイの実施
- 中心市街地活性化事業 【再掲】　※3－4参照
  - ・(新) 拠点整備検討事業、まちなかにぎわい創造事業(三条マルシェ)、まちなか応援マネージャー事業
- 「健幸マイレージ」制度の充実 【再掲】　※3－5参照

## シティセールスの推進

- 交流拠点施設整備事業 【再掲】　※4－1参照
- 着地型観光の推進 【再掲】

# ５－１　市民活動の支援

地域の資源、人材を活かした豊かで活力ある地域社会をつくるため、地域・市民の持つパワーを十分に発揮できる主体的な取組や、今まで培ってきた地域の絆を更に太く・強くする取組を支援、情報発信することで、人や地域の絆の再認識と、地域の活性化につなげるもの

## まちづくりサポート交付金

支援から協働へ

【予算額】 15,286千円
　新たな公共の担い手として活動するまちづくり団体が地域課題を解決するため、市と協働する事業

## 地域のきずな・“結”プロジェクト

【予算額】 1,300千円
　過去に開催していた年中行事を復活するなど、地域のつながりを更に太く・強くする取組に対する支援

## 地域イベントカレンダー

【予算額】 92千円
　各地域で開催するイベントについて、地域外の市民が参加可能なものを取りまとめ、カレンダーを作成、周知する。
　またイベントを支援する体制も整備

## 地域づくり応援塾

【予算額】 320千円
　まちづくりへの意識を高め、新しい担い手を育成する

協働

つながり強化

地域活性化

担い手育成強化

## 市民活動支援

**中間支援組織**
　市民活動団体が主体となり、市民の公共的、公益的活動を支援

絆の再認識

地域コミュニティ　自治会等　NPO

活用

主体的な参加・協力の継続

### 主体的事業

- 「(仮称)日本鍛冶学会」の設立　※１－２参照
- 地産地消ｼｽﾃﾑ構築推進事業　※１－３参照
- 放課後子どもプランの推進
- 交流拠点施設整備事業　※４－１参照
- 着地型観光の推進

### 協力的事業

- 生活習慣予防、介護予防、認知症予防の充実　※３－２参照
- 食育の推進　※１－３参照
- スポーツ環境の充実　※３－２参照
- 中心市街地活性化事業 ※３－４参照
- 「健幸ﾏｲﾚｰｼﾞ」制度の充実　※３－５参照

3つの基盤

# Ⅰ 行財政改革の推進　～プロフェッショナル意識の高いコンパクトで柔軟な組織体制の構築～

## 新経営戦略プログラム　※Ⅰ－１参照

### 変化に柔軟な少数精鋭による行政のプロ集団の構築

- 人材育成基本計画の着実な実施　※Ⅰ－２参照
  - ・㊕ マネジメント能力向上研修の実施、OJTリーダー研修の実施、㊕「考える力」の育成研修の実施
- 多様な雇用形態の活用
- 定員適正化計画の着実な実施

### コンパクトで柔軟な組織基盤の構築

- 組織基盤を構成する各要素の強化　※Ⅰ－３参照
  - 23年度 文書管理体制の再構築
  - ・文書管理の適正化
- 業務の改善・効率化の取組の推進
  - 23年度 取組実施課（政策推進課、収納課、環境課、経済部全課）
  - ・行政サービスの質の向上とコスト削減、職員の意識改革等の徹底
  - ・㊕「全国都市改善改革実践事例発表会」への参加
- 業務の繁閑に柔軟に対応するための組織体制の構築

### 行政サービスの最適化

- 行政サービス再整理計画の着実な実施
- 公共施設のマネジメント
  - ・公共施設のコスト計算書の作成
- 公の施設運営計画の着実な実施

### 財政の柔軟性の確保

- 税収及び税負担の公平性の確保
  - 23年度 私債権管理条例の検討、施行
  - ・私債権管理の取組、新潟県地方税徴収機構への参加
- 受益者負担の適正化
  - 23年度 使用料減額・免除基準検討委員会での検討
- 市有財産の利活用
  - ・㊕ 遊休財産売却の検討
- 情報システムの共同化の検討　※Ⅰ－３参照

# Ⅰ－１　新経営戦略プログラムの進捗状況

10年後、20年後の三条市を見据えた羅針盤であり本市の行政内部の改革の道筋を示した「新経営戦略プログラム」の推進状況を示すもの

【財政指標の状況】

| | 平成23年度決算見込 | 平成24年度当初予算見込 | 計画期間目標（平成27年度） |
|---|---|---|---|
| 経常収支比率 | 95.0% | 93.9% | 94.0%以内 |
| 実質公債費比率 | 14.8% | 14.5% | 14.5%未満 |
| 財政調整基金残高（職員退職手当基金を含む） | 38.2億円 | 34.8億円 | 45.0億円以上 |

※　実質公債費比率は３か年平均値

【定員管理指標の状況(定員適正化計画)】

(単位：人)

| | 平成23年度当初（H23.4.1） | 計画との比較増減 | 平成24年度当初（予定） | 計画との比較増減 | 計画期間目標（平成27年度） |
|---|---|---|---|---|---|
| 職員数 | 1,491(△ 24) | 17 | 1,472(△19) | 84 | 1,260 |
| 正職員 | 990(△ 26) | △５ | 958(△32) | △５ | 850 |
| 期限付任用職員 | 292(　292) | 4 | 300(　8) | 53 | 243 |
| その他 | 209(△290) | 18 | 214(　5) | 36 | 167 |

※（　　）は、前年度との比較増減を示す。

【事務事業の再整理関連指標の状況(行政サービス再整理計画)】

(単位：事業)

| | 平成23年度 実施 | 平成23年度 累計 | 平成24年度 予定 | 計画期間目標（平成27年度） |
|---|---|---|---|---|
| 見直しする事業 | 3 | 3 | 8 | 18 |
| 民営化推進事業 | 0 | 0 | 8 | 11 |
| 事業委託推進事業 | 2 | 2 | 1 | 7 |
| 廃止する事業 | 6 | 6 | 4 | 10 |

【公の施設の再整理関連指標の状況(公の施設運営計画)】

(単位：施設)

| | 平成23年度 実施 | 平成23年度 累計 | 平成24年度 予定 | 計画期間目標（平成27年度） |
|---|---|---|---|---|
| 指定管理制度導入施設 | 5 | 5 | 0 | 5 |
| 移設する施設 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 機能を統合する施設 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 廃止する施設 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 使用料見直し施設 | 38 | 38 | 0 | 38 |

# Ⅰ－２　人材育成基本計画の着実な実施

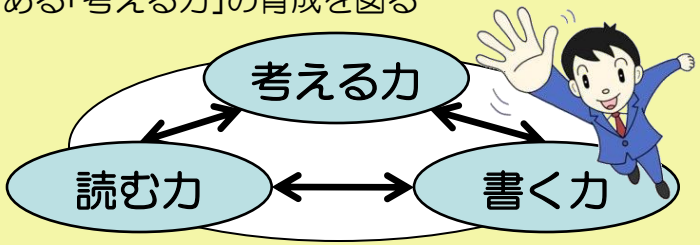
職務に必要なスキルの見える化とＯＪＴを中心とした人材育成を進めることで、職員の資質・意識の向上を図り、変化に柔軟な行政のプロ集団を構築するもの

「目指すべき職員像」
①全体の奉仕者としての使命感・責任感や倫理意識をもった職員
②職務を遂行する上で必要な知識・能力を習得し、職務に確実に活かす職員
③自分の職責を自覚し、組織人としての務めを果たす職員
④常に的確に現状を認識し、問題意識を持って課題を解決できる職員

【予算額】10,149千円

## 「考える力」の育成研修の実施

日常の職務及び研修の機会を通じ、「読む力」と「書く力」を徹底的に強化することで、あらゆる能力の基礎である「考える力」の育成を図る




《取組内容》
○言語力検定の実施（自らの現状把握及び能力開発の動機づけ）
○読み書きに係る基礎的な技術の習得を目的とした研修の実施　など

## マネジメント能力向上研修の実施

組織のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(部下指導、目標管理、ﾘｽｸ管理等)の意義・重要性を再認識するとともに、それを司る者としての心構えとｽｷﾙを身に付ける
○対象：管理職

## ＯＪＴリーダー研修の実施

OJTの意義・重要性を再認識するとともに、職場のﾘｰﾀﾞｰとして部下を指導・育成するためのｽｷﾙを身に付ける
○対象：係長級職員

その他の研修：専門研修・階層別研修・自己啓発支援

## 主体的に行動できる人材の確保

「行政のﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙとして主体的に行動」する職員に成長するための資質を「他人の意見、現状の自分を受け入れることができること」、「現状打破に貪欲かつ積極的であること」と定め、これに基づき設定した求める人物像「素直な肉食系」の採用を目指す

## 「スキルマップ」＝人材育成の設計図

《 持つべき能力等 》
能　力　意　識　技　術　知　識

《各職位等の「とるべき行動(目標)」》

# Ⅰ－３　情報システムの共同化の検討

他自治体と連携しシステムの共同化・クラウド化を進めることで、業務・システムの最適化・効率化とコストの縮減を図るもの

【予算額】6,710千円

情報システムの保守期限切れに伴うシステム更改時期の到来

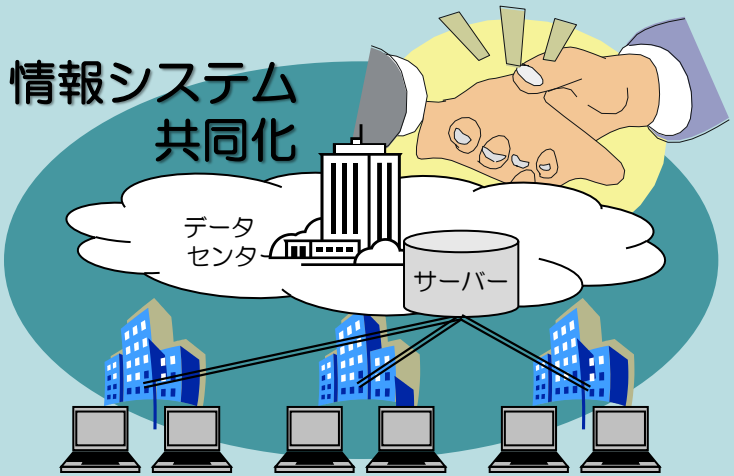
- 厳しい財政状況
- ＩＴコストの増加
- 効率化の必要
- 行政事務の複雑化
- 住民サービス向上の必要
- セキュリティ対策の多様化・複雑化

## (仮称)住民情報系システム共同利用連絡会議

○構　　成：県内自治体
○検討内容
　住民基本台帳、各種税、印鑑登録など多業務にわたる住民情報システムの共同化
○スケジュール

| 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|---|---|
| 費用対効果の検討 | 仕様検討 | 業者選定 | 開発・移行・検証 | 新システム稼働 |

## 効　果




○スケールメリットによる導入経費・運用コストの縮減
○制度改正時等のシステム改修におけるコスト軽減
○民間データセンター活用によるセキュリティ強化
○新たなサービス運用検討の可能性

《期待される経費縮減効果》

三条市では10年で**約20%の縮減**

平成23年度検討市町村全体では約30%の縮減

（※平成23年度に共に検討を進めてきた14市町村で試算）

3つの基盤

# Ⅱ 社会インフラの整備促進

## 防災対策の推進

### 総合治水対策

- (新) 五十嵐川及び支川の災害復旧事業 【再掲】 ※(最)－2参照
- 地下貯留施設の整備 【再掲】 ※(最)－2参照
  - ・(新) 一ノ木戸小学校跡地利用内水対策事業ほか
- 新通川・島田川の抜本的対策 【再掲】 ※Ⅱ－1参照
  - 23年度
    「新通川・島田川内水対策検討会」での検討（新潟県・三条市）
- (新)(仮称)布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会【再掲】 ※(最)－2参照
- (新)「災害復旧対策室」の設置 【再掲】

### 内水対策

- 緊急内水対策事業 ※Ⅱ－1参照
  - ・新通川・島田川沿川排水区域内水対策事業
  - ・輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業
  - ・間野川排水路改良事業
  - ・吉津川上流域内水対策事業
  - ・(新) 須頃郷地区排水対策事業
  - ・(新) 一ノ木戸小学校跡地利用内水対策事業【再掲】
  - ・直江町三丁目排水区域内水対策事業
  - ・塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部)
  - 23年度
    ・新通川・島田川沿川排水区域内水対策事業
    ・間野川排水路改良事業
    ・輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業
    ・塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部)
    ・直江町三丁目排水区域内水対策事業
    ・吉津川上流域内水対策事業
    ・「須頃郷地区排水対策検証会」での検討（三条市・燕市ほか）
- 田んぼダム推進事業 ※Ⅱ－1参照
  - ・本成寺地区、川通地区
  - 23年度
    本成寺・月岡・大崎・福多地区

### 河川防災ステーションの整備 【再掲】 ※4－1参照

## 減災対策の推進

- 地域防災力強化事業 【再掲】 ※(最)－3参照
- 災害対策事業 【再掲】 ※(最)－3参照
- 水防事業 【再掲】 ※(最)－3参照
- 防災教育の推進

## 新市建設計画の着実な推進

- ごみ処理施設建設事業　※Ⅱ－3参照
  - ・環境啓発施設の建設
  - 23年度 本体工事
- 都市計画道路等道路整備事業　※Ⅱ－2・Ⅱ－4参照
  - ・新保裏館線、矢田中曽根新田線、森町院内線など
  - 23年度 新保裏館線の集中的な整備（JR委託工事ほか）
- 栄スマートインターチェンジ整備事業　※Ⅱ－5参照
  - 23年度 連結路新設、アクセス改良工事、舗装ほか
- 小中一体校の整備 【再掲】　※2－2・Ⅱ－2参照
- 新 川通どれみ保育園の整備 【再掲】
- 交流拠点施設整備事業 【再掲】　※4－1参照
- 吉ヶ平周辺整備事業 【再掲】　※Ⅱ－2参照
- 観光施設等整備事業 【再掲】　※Ⅱ－2参照
- 公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業
  - ・公共下水(三条地区)、特定環境保全公共下水(栄地区・下田地区)

23年度
・都市計画道路半ノ木一ツ屋敷線
・都市計画道路田島曲渕線
・下保内地区農業集落排水
・障がい者拠点施設

# 3つの基盤

# Ⅲ 力強い地域基盤の確立

## 広域的取組の推進

- 生活圏・経済圏での自治体連携
  - ・新潟港利用・地域活性化実行委員会（新潟港のポートセールス促進）

## 内水対策の推進

- 新 須頃郷地区排水対策事業【再掲】　※Ⅱ－1参照

## 地域医療

- 救命救急センター及び併設病院等のあり方の検討

## 観光・産業

- 燕三条ブランドの積極的な展開（地場産業振興センター）【再掲】

# Ⅱ－１　内水対策

市街地の浸水しやすい地区での強雨時における短期的な当面の対策を行うとともに、排水において重要な役割を果たす河川について、流域の内水対策と連携し、より効果的に進めるための検討を行い、浸水被害の軽減を図るもの

## 緊急内水対策事業

【予算額】78,200千円

| | 事業名 | 事業期間 | H24年度事業内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 直江町3丁目排水区域内水対策事業 | 平成22年度～平成26年度 | 排水路改良等実施設計 |
| 2 | 輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業(条南町･桜木町･西本成寺1丁目) | 平成21年度～平成27年度 | 排水路改良工事 |
| 3 | 新通川・島田川沿川排水区域内水対策事業 | 平成23年度～ | 排水路改良等実施設計 |
| 4 | 間野川排水路改良事業 | 平成20年度～平成26年度 | 排水路改良工事・調整池整備 |
| 5 | 塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部) | 平成22年度～平成25年度 | 排水路改良等実施設計 |
| 6 | 吉津川上流域内水対策事業 | 平成23年度～平成26年度 | 調査設計 |
| 7 | 一ノ木戸小学校跡地利用内水対策事業 | 平成24年度～平成25年度 | 調査設計 |
| 8 | 須頃郷地区排水対策事業 | 平成24年度～平成28年度 | 排水路改良等実施設計 |

## 新通川・島田川内水対策検討会

【検討結果】
⇒多発する浸水被害に対し抜本的な治水基盤整備を早期に行い、沿川内水対策事業の促進を図る
【対象事業】
新通川・島田川沿川排水区域内水対策事業、輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業

## 田んぼダム推進事業

【予算額】2,265千円
【事業内容】
水田に雨水を一時貯留し、時間をかけて下流へ排水することで下流の市街地の浸水被害を軽減する
【実施地区】
本成寺地区、川通地区

## 【地下貯留施設の整備】

※最-2参照

# Ⅱ－２　新市建設計画の着実な推進

新市建設計画の理念達成に向け、登載事業の着実な推進に取り組むとともに、行政課題を見通した中で新規事業の方向性として整理したものについては、具体化に向け検討を行うもの

## 継続事業　２２事業(既存事業１７事業、新規事業５事業)

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○第一中学校区小中一体校建設事業 | 【予算額】 | 837,666千円 | 建設工事 |
| ○第二中学校区小中一体校建設事業 | 【予算額】 | 869,566千円 | 建設工事 |
| ○川通どれみ保育園の整備 | 【予算額】 | 288,225千円 | 建設工事 |
| ○白鳥の郷公苑整備事業 | 【予算額】 | 58,500千円 | 建設工事 |
| ○吉ヶ平周辺整備事業 | 【予算額】 | 9,000千円 | 用地取得 |
| ○粟ヶ岳登山道アクセス道路整備事業 | 【予算額】 | 5,000千円 | 用地取得 |
| ○森町院内線道路整備事業 | 【予算額】 | 12,000千円 | 用地取得、実施設計 |
| ○交流拠点施設整備事業 | 【予算額】 | 438,583千円 | |

・下田地域交流拠点施設整備事業
　庭月庵悟空の改修、
　農産物加工所・直売所の建設 ほか
・保内地域交流拠点施設整備事業
　施設整備の検討 ほか
・かわまちづくり事業
　馬場跡地整備、
　河川防災ステーションの整備 ほか

白鳥の郷公苑の整備

下田地域交流拠点施設の整備

## 完了　３８事業

○防災無線システム
○都市計画道路半ノ木ーツ屋敷線
○下保内地区農業集落排水
○しらさぎ荘
○千代が丘保育所
○下田公民館
○火葬場
○し尿処理施設
○三条東公民館
○栄中央保育所
○保内保育所子育て支援センター
○栄体育館
○障がい者拠点施設　など

下保内地区農業集落排水

# Ⅱ－３　ごみ処理施設建設事業

快適な日常生活を送ることができるよう、暮らしに必要な生活関連施設の整備を継続して行うもの

## ごみ処理施設建設事業

循環型社会に対応し、熱エネルギーを回収する機能を付加した施設を、設計、建設、運営事業までを一体で行う方式により整備する

【予算額】 946,362千円
旧施設解体及びストックヤード建設工事
ほか

【ごみ処理施設の概要】
○建設場所　三条市福島新田地内
○敷地面積　約24,100㎡
○焼却施設処理能力　160t/日
○リサイクルセンター処理能力　11t/日
○事業費　10,153,236千円

平成24年7月
供用開始!!

### 新ごみ処理施設のメリット

| | |
|---|---|
| 焼却灰のリサイクル | 埋立ごみの減量化 |
| 燃焼熱による発電 | エネルギーの有効活用 |
| ごみ中の金属回収 | リサイクル率の向上 |

循環型社会の実践

## 環境啓発施設の建設

環境について楽しく学び体験できる環境啓発施設を整備する

【予算額】150,000千円(平成23年度補正)
○建設場所　三条市福島新田地内
○供用開始　平成25年3月(予定)

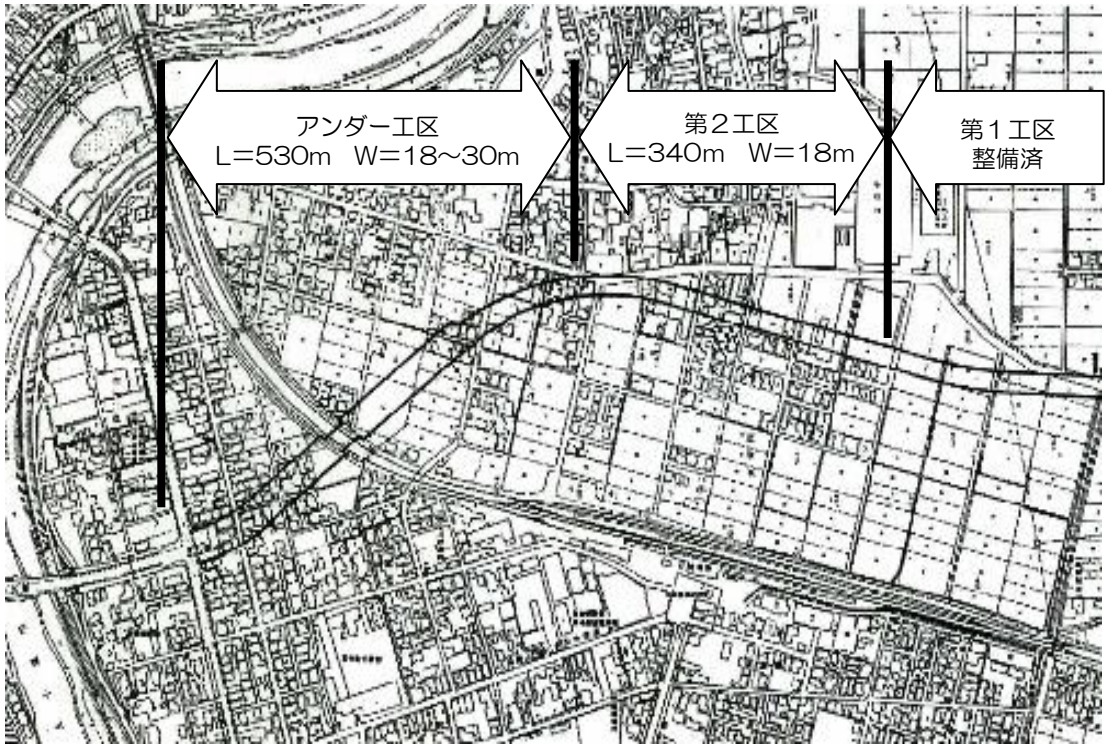
# Ⅱ－４　都市計画道路等道路整備事業（新保裏館線）

国道４０３号バイパスと市道西大崎西本成寺線を結ぶ都市計画道路新保裏館線の整備を行うもの

【整備状況】
全体延長：3,970m
国道403号ＢＰ～西大崎西本成寺線
整 備 済 ：2,046m（51.5%）
整 備 中 ：870m（21.9%）（アンダー工区･第2工区）
未 整 備 ：1,054m（26.6%）

【アンダー工区事業概要】
延　　長：530m　　幅　　員：18～30m
事業期間：平成14年度～平成２６年度
事 業 費 ：6,709,000千円(補助等事業費ベース)

【第２工区事業概要】
延　　長：340m　　幅　　員：18m
事業期間：平成20年度～平成26年度
事 業 費 ：878,000千円(補助等事業費ベース)




【経過（アンダー工区）】

| 年度 | ～平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 | 用地：12,491㎡<br>建物補償：47棟<br>工事：杭打61本<br>作業ヤード造成5,011㎡ | 用地：590㎡<br>建物補償：4棟<br>工事：擁壁40m<br>杭打48本 | JR委託工事<br>工事：擁壁60m | JR委託工事<br>工事：擁壁40m<br>杭打19本 |
| 事業費 | 2,213,177千円 | 413,580千円 | 960,840千円 | 1,040,000千円 |
| 進捗率 | 33.0% | 39.2% | 53.5% | 69.0% |

【経過（第２工区）】

| 年度 | ～平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 | 用地：3,860㎡<br>建物補償：9棟 | 用地：780㎡<br>建物補償：7棟 | 用地：922㎡ | 工事：180m |
| 事業費 | 458,105千円 | 292,760千円 | 48,700千円 | 60,000千円 |
| 進捗率 | 52.2% | 85.5% | 91.1% | 97.9% |

# Ⅱ－５　栄スマートインターチェンジ整備事業

地域経済の活性化や周辺住民の利便性向上等のため、栄パーキングエリアにETC専用のスマートインターチェンジを設置するとともに、広域ネットワーク網の起点として整備するもの

【事業概要】
北陸自動車道栄パーキングエリアにETC専用のスマートインターチェンジ(全車種・24時間利用可能)を東日本高速道路㈱と共同で整備

事業期間：平成20年度～平成24年度

事　業 費：554,552千円 (三条市分・予算額ベース)

## 市道岡野新田１号線道路改良事業

栄スマートインターチェンジの主要アクセス道路として通行車両及び歩行者の安全性の向上を図るため歩道等の整備を行う

事業期間：平成22年度～平成27年度

【平成24年度予算額】9,000千円
詳細設計、用地交渉　ほか

## 整備により期待される効果

◆川通工業団地～（栄スマートIC利用）
長岡ＪＣＴまで ⟶ 約20分短縮
新潟中央ＪＣＴまで ⟶ 約9分短縮
◆長岡ＪＣＴ～（栄スマートIC利用）
金子新田工業団地まで ⟶ 約13分短縮
総合運動公園まで ⟶ 約13分短縮

【栄スマートインターチェンジ整備経過】

| 年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 内訳 | 基礎調査：1式 | 測量、調査、設計：1式 | 設計：1式<br>用地：11,203㎡<br>工事：連結路新設、アクセス路改良工事 | 工事：連結路新設、アクセス改良工事、舗装、安全施設、標識工事ほか | 工事：駐車場連絡路、付帯工事ほか |
| 事業費 | 7,949千円 | 28,651千円 | 173,652千円 | 304,850千円 | 39,450千円 |
| 進捗率 | 1.4% | 6.6% | 37.9% | 92.9% | 100.0% |